

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		家庭総合(2)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則1年次		通年	4	4	
科目の概要	「家庭総合」の学習内容のうち、「自分らしい生き方と家族・子どもとかかわる・高齢者とかかわる・社会とかかわる・住生活をつくる」の範囲を学ぶ。				
科目の目標	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図る。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	実習①(刺し子)	・さらし布の1cm内側に定規を使用して正方形に線を引く。 ・引いた外枠の線を波縫いで縫う。	1		前期
	実習②(刺し子)	・外枠を縫う続きを行い、外枠を完成させる。	2		
	第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考え、自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。 ・人生設計に必要な要素を理解し、自分の将来とこれからの社会について考える。		1	
	第1編 人とかかわって生きる 第2章 子どもとかかわる	・青年期の特徴について学び、これからの自分自身と社会のあり方を展望する。		2	後期
	実習③(刺し子)	・外枠の内側にチャコペーパーを使用して模様を写す。 ・写した模様を波縫いで縫う。	3		
	実習④(刺し子)	・写した模様を縫う続きを行う。	4		
	第1編 人とかかわって生きる 第3章 高齢者とかかわる	・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえ、介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。		3	
	第1編 人とかかわって生きる 第4章 社会とかかわる	・ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について考える。			
	第2編第3章 生活を作る 住生活をつくる	・住まいの機能や、住まいと気候風土とのかかわり、家族周期とのかかわりなどについて理解する。		4	
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:30% スクーリング:40% 試験:30% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、実技を実施する。進捗状況によって評価に変動ある。 試験:追試験は行わないものとする。</p>				
単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間4時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>				
使用教科書等	「新家庭総合パートナーシップでつくる未来」 実教出版				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。				

